

さんだ 里山めぐり

令和 5 年

1 月号

第 7 号



過去号はこちら↑

ヤマザクラの育苗活動～未来につなごう桜彩る街

三田市 6月4日 土曜日 2022年

さくらの里親会

令和4年 10時 6月4日 9:30より受付

於 県立人と自然の博物館 (社宅一階に無料バス移動 (本館の裏山で種を採取))

参加無料

- 対象：市内在住の方 (小学生以下は保護者同伴)
- 定員：20名 (応募多数の場合は抽選)
- 申込方法：申請フォームまたは裏面の申込書
- 申込期限：5月20日 必着

主催：三田市 協力：兵庫県立人と自然の博物館、もりんちゅうの会

「里山」— それは暮らしを支え、生きものを育む「半自然」 三田市

ヤマザクラを市民や事業者の方に育てていただき、老樹になった市内のソメイヨシノに代えて植えていく取組みを、三田市が始めました。

学校校内や、武庫川の土手を彩るサクラは、「ソメイヨシノ」と呼ばれる人がかけ合わせて作られた品種です。ソメイヨシノは、クローン(挿し木や接ぎ木)で増やされたため、自分で子孫(種)を増やすことができません。また、同じ遺伝子を持つために、伝染病がまん延しやすい弱さを持ちます。そこで自然環境の保全と、美しい春景の保護に向けて、ヤマザクラの育苗活動に取り組んでいるところです。



ヤマザクラの実を拾う参加者 = 三田市木器

【市民参画】 6月に、市民に育苗を呼びかける「さくらの里親会」を開催し、市内の親子ら25人が参加しました。ヤマザクラの特徴や、苗の栽培方法などについて人と自然の博物館で学んだ後、ヤマザクラが自生する木器(こうづき)の里山で、種を集めました。種はご自宅に持ち帰って、苗に育てていただきます。

種まきは11月～1月が適しているということで、参加されたみなさんはちょうど今頃、種を蒔いているころと思います。

育った苗は令和7年以降、武庫川桜つつみ回廊や学校などでの植栽を予定しています。

里親会について、ハニーFMのアーカイブで詳しくお聞きいただけます！



現地の準備や案内は、開催場で保全活動をしている『もりんちゅうの会』さんが協力くださいました。

【企業参画】 11月には、三田市近郊に事業所を持つ企業にも育苗を呼びかけました。『神姫バス(株)三田営業所』、『エスパック(株)神戸 R&D センター』、『新日本カレンダー(株)三田工場』の3事業所さんが協力表明くださりました。



→新日本カレンダー(株)様

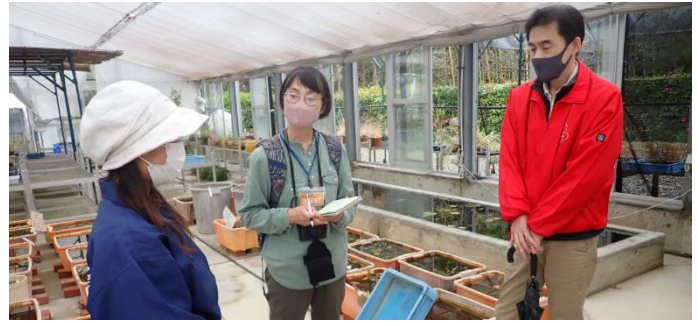


→エスパック(株)様

【専門機関】人と自然の博物館には、ヤマザクラに関する専門的な知見をいただくとともに、育苗のご協力をお願いしています。11月末、種まきをされるということで、研究員の石田先生にご案内いただきました。

博物館には、野生植物、特に絶滅危惧植物の保護を目的として、様々な野生植物を栽培・育成する『ジーンファーム』という施設があります。木器(こうづき)のヤマザクラもこの施設で苗に育てられます。

石田先生は、「ヤマザクラは日本に元から生息していた在来種ですが、地域の環境によって、異なる特徴(遺伝子)を持っています。三田市に自生している種を育て、植樹していくことが大事です。」とおっしゃられていました。



【先進地視察】県立 尼崎の森中央緑地は、工場があった埋立地を、市民や企業と協働しながら、森をつくる取組みをされています。県民が苗木を1年間育て、中央緑地に自分の手で植樹する『苗木の里親』にも取り組まれています。苗木活動について、現地で勉強をさせていただきました。



市役所の担当職員も自宅で種まきました！自分が蒔いた種が苗に育ち、将来、みんなの目を楽しませている景色を思いうかべると、わくわくしますね。

「桜」からみる里山の今

私たちが学校、公園、河川敷で楽しんでいる桜のほとんどはソメイヨシノです。しかし、古来、日本人が愛で、和歌や絵画で題材とされてきたのはヤマザクラでした。

ヤマザクラは、日光がよく当たる明るい場所を好みます。昔は、薪、木炭、肥料に使うために、人が木を伐っていたので、木がまばらで明るい山が普通がありました — そう、『里山』です。市内の森は、約9割が里山として使われてきました。

しかし、エネルギーが石油やガスに代わり、里山に人の手が入らず、多くの森が薄暗くなっています。日本の文化をつくってきたヤマザクラも将来、姿を消してしまうかもしれません。

里山の保全を通じて、桜で楽しさや憩いを感じられ、賑わいがあるまちづくりに取り組みます。

人の手が入っている里山林



管理されなくなった里山放置林



4 若い世代を
みんなに

11 住み続けられる
まちづくりを

13 自然環境に
具体的な対策を

15 緑の豊かさも
守ろう

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

三田市は、桜を守るだけでなく、桜を楽しみ、育み、未来につなぐ「三田さくら物語」プロジェクトをスタートさせました。

「住みつづけたいまち三田」、持続可能なまちのシンボルとして、桜にまつわる様々な取組みを展開していきます。